

いきいきかんどぎ

市民発の地域づくり紹介

【神埼ほたる会】

昔はあちこちで見かけたホタル。清少納言の「枕草子」にも登場するほど、幻想的な光が古くから日本人の心に溶け込んできました。

「なるべく自然な姿でホタルが舞う光景を復活させたい」と会長の田中利明さん。ホタルの観察を行うとともに、鑑賞できる場所や生態などホタルに関する情報を市民に知らせる活動を行っています。

田中さんは、勤めていた会社で工場廃水処理の業務を担当。水質浄化の成果を確認するため、処理水でホタルの飼育をしていたということ。退職を機に、ホタルの生態を多くの人に紹介し、楽しめる環境をつくること呼びかけ、2年前に会を

ホタルが舞う光景を復活させたい



今年度の事業計画などを話し合う会員たち

立ち上げました。「ホタルだより」「ホタル情報」を毎月発行。シリーズには毎週ホタルの飛翔情報も出しています。今年3月には「ホタルの菜」を発行。ホタルの種類や生態などをわかりやすく紹介しています。

ホタルは、農薬の使用や環境の変化に伴って、次第に姿を消してきました。近年、減農薬の取り組みも行われるようになりましたが、簡単なことではありません。ただ、使う時期を考慮することで、影響を少なくすることはできるといいます。「農家の人にもホタルに関心を持ってもらえれば」と田中さん。会によると、市内で現在ホタル飛翔



今年3月に発行された「ホタルの菜」

が確認されている場所は、約70カ所にも上るそうです。間もなくホタルのシーズンを迎えます。メンバーは、情報収集や観察会の準備に余念がありません。今年にはホタルが生息する川の整備を行い、孵化や幼虫の飼育にも取り組みたいと、夢を膨らませています。



市中央公民館に掲載されている「ホタルだより」

一人ひとりが生き生きと暮らす元氣な神埼を。市民の立場で、住みよくなるさつくりに取り組んでいる団体をシリーズで紹介しています。



会長の田中利明さん

現在、会のメンバーは20人。毎月1回の役員会と年1回の総会を開催。情報紙の発行や市外の活動グループとも交流を行い、ホタルの復活に取り組んでいます。

「神埼ほたる会」 連絡先 田中 TEL0952-53-0764

市のうごき (平成22年3月末日現在)

- 人 □ 33,508人(対前月 -88人)
(男/16,003人 女/17,505人)
- 世帯数 11,139世帯(対前月 -6世帯)